

学校で使える 「Bセンスさんぽ」プログラム

横山 隆一 (NACS-J・日本自然保護協会常勤理事, Bセンス・フォーラム運営委員)

○Bセンスとは……環境の中にある,心地よい気分になれるモノゴトを見つける感覚

自然体験の面白さは,野外で思いがけないものと出会い,それと接する身体的満足と,それら同士にいろいろなつながり合いがあることを知り,自分ともつながっていることに気づく知的満足です。一方,難しさは何と出会うか予測しにくく,出会えるかどうかもある側の発見力に左右されること。それならば,モノゴトを自ら発見できるよう目のつけ所の手がかりを作っておこうとはじめたのが,「Bセンスさんぽ」プログラムです。これは子どもにも大人にも適応でき,生き物の名を知らなくてもでき,理科的な自然だけでなく,地域の歴史にも係わる人と自然の関係も,モノゴトに含めています。

BセンスのBは,人を含む生き物の社会に地域性を作り安定させている「生物多様性(Biodiversity)」という言葉の頭文字。自然とのつながりを意識してモノゴトが見え,接し方や価値観を作っていく感性(センス)を,Bセンスと呼んでいます。Bセンスのねらいは,個々人の小さな行動であっても,生物多様性との関係に気づき,それを意識した行動

が選択され,日々積み重なっていくことが,人の暮らしと自然界の多様性を守ることに効果的なので,このBセンスを育てれば,子どもたちや家族が日々の暮らしのなかで自然の恵みを意識し,人と自然の多様性を保つ手助けをしていく社会に近づけるのではと考えました。自然体験のなかでBセンスをもつ個人を育て,Bセンス・ライフを楽しんでというメッセージを,理科教育から出していくものです。

1. 「Bセンスさんぽ」の方法

「Bセンスさんぽ」の仕方は,校内でも町内でも,あらかじめ場所やコースを設定してゆっくり歩き,生徒同士でBセンスが感じられるモノやコト(次頁のシート①の左側参照。Bセンス・アイテムといいます)を周囲から見つけ合う。それを写真に撮ったりスケッチしたりしつつ,見つけたもののセンスの度合いをその場で評価し合って(シート①の右側参照)記録します。こうして校内や地域の自然やそれらと人との関係を知り,その効果や価値に気づき(Bセンスあるものを見て,自分のBセンスも高め),それがあることの効果や価値を発見していきます。学校では校内を面的に利用すればよく,林間学校のような

ときは起点と終点を用意して,野山と集落歩きにすることができます。文化祭のようにときに,町内を使ってご家族でやっていただくのもよいと思います。

歩くのは,先生が案内役で,みんなが一人で歩ければそれでもよいですが,やってみると,見つけながら・話しながら・記録しながら歩いてまとめていくには,班長さん,見つけたBセンス・アイテムを記録シートに書きとめる人,見つけたものを写真に撮ったりスケッチしたりする人,さんぽが終わった後に記録をレーダー・チャート表に集計する中心役になる人の4名1グループで進めるのがよいと思われます。持ち物は,筆記具とA4判

のクリップボード。もし使えるならば,デジタルカメラと集計用の電卓があると便利です。

2. シート①の「識別チャート」の説明

識別チャートは,Bセンス・アイテムに気づき・見つけ・区分するための素材集(ヒント,目のつけ所)です。チャートの一番左の列にある「見つけたい12アイテム」に注目しながら歩き,あてはまるものを見つけていきます。もし「12アイテム」にあてはまらないものを発見したら,新アイテムと評価の区別点を加えていくため,空いている欄もあります。校内にはない,あるいは子どもたちには難しいかと思われる項目は,先生が別なものに差し替えて下さい。

シート① Bセンスさんぽ * 歩きながらこんなものないか捜そう! (Bセンス・チャート試作品②)

(4時間程でゆっくり歩ける約4kmの「さんぽコース」で,次のものはないかな?)

| | ☆見つけたい 12アイテム | Cool センス抜群! 5点 | Good いい感じ♪ 3点 | Match センスあり♪ 1点 |
|------|---|----------------------|-------------------------|----------------------|
| 生き物 | A 生き物が暮らす場所 | いろいろな生き物が暮らす池がある | 多くの種類の動物が暮らす場所がある | 軒下いろいろな植物が育てられている |
| | B 身近な植物 | 田畑や菜園で農産物が育っている | 木に果実がなっている(通りを単位に1記録!) | 花が咲いている(通りを単位に1記録!) |
| | C 身近な動物 | 鳥や虫といった動物の子どもが育つ所がある | 動物が餌にしているものがある(証拠のあるもの) | 動物の姿や声が聞こえる(1箇所1記録!) |
| | D 大きな木 | 胸の高さで幹の直径が70cm以上の木 | 胸の高さで幹の直径が50cm以上の木 | 胸の高さで幹の直径が30cm以上の木 |
| 暮らし | E 町並み | にぎわう,古くからの商店街がある | 保育園,幼稚園や小学校がある | 生垣を持つ家が並んでいる |
| | F お店 | 原料から地域で作られた品物を売っている | 地域性を意識した食べ物を売っている | 手作りのお惣菜を売っている |
| | G 自然素材の品物 | 自然素材の品物を作っている工房や店がある | 自然素材の品物やリサイクル品を売っている | 自然素材の品物を使っている家がある |
| | H 人の暮らし | 気軽に会話ができる人がいる | 誰でも使える休憩場所がある | マイバッグを持ってお買い物する人がいる |
| 道や建物 | I 歩く人を大事にした道 | 遊歩道や緑道が作られている | 歩く人専用の道がある | 車の入れない路地がある |
| | J 地域の記憶を残すもの | 歴史的建造物,お地藏様や道祖神がある | 昔の道標や古い碑が残されたり,古い石垣がある | 木製電柱や井戸のようなレトロなものがある |
| | K お寺や神社 | 樹林に囲まれている(広くなくともOK!) | お参りの人や,境内を通り道にする人がいる | お社がある(小さくてもOK!) |
| 地域 | ★皆さんで「地域のBセンスのものさし」になるものを見つけたら,下に追加して下さい。 | | | |
| | L | | | |

※鳥や花・木の実は,あちこちにたくさんいても「1つの通りごとに1回」記録して下さい!!。

3. シート②の「記録シート」の説明

シート②の記録シートは、Bセンス・アイテムを集積していくためのもの。発見した順に、時刻や場所・位置、アイテム記号(A~L)、みつけたモノ・コト、点数(5, 3, 1),

出会った印象を記入していきます。アルファベットが読めない年齢なら、アイウエオに変えて下さい。この点数を決めるときに、みんなでお話し合ってください。いい感じ! と思えるものが高い得点です。

シート② Bセンスさんぽ * **Bセンス・アイテム記録シート!** 用紙 NO.

年月日(曜日)天気 コース名 記録者名
一着に歩いた人…【班名】

| 時刻と場所や位置の名 | アイテム記号 | みつけたモノ・コト | 点 | 出会った印象(話し合ってください!) |
|------------|--------|-----------|---|--------------------|
| 1 | | | | |
| 2 | | | | |
| 3 | | | | |
| 4 | | | | |
| 5 | | | | |
| 6 | | | | |
| 7 | | | | |
| 8 | | | | |
| 9 | | | | |
| 10 | | | | |
| 11 | | | | |
| 12 | | | | |
| 13 | | | | |

※ここまで書けたら、次の紙にナンバー(通し番号)と班名だけを書いて続けて下さい。

4. シート③の「レーダー・チャート」の説明

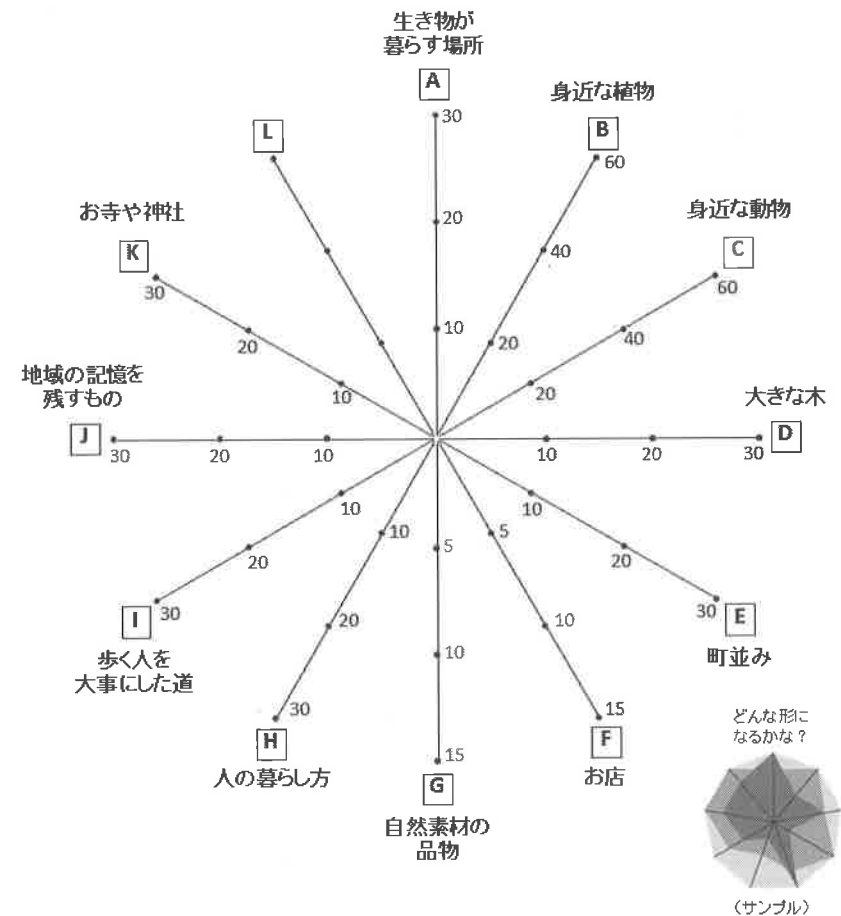
記録シートから、アイテムの種類ごとに記録数と点数を足し算し、レーダー・チャートに記入していきます。そして、各得点の位置同士を線で結ぶと、そのコース(あるいは範囲、地域)のプロポーションが見えてきます。高得点をとるアイテム種が多ければ、高得点なコースとなりますが、同じ得点のコースで

も、アイテム数が多い(いろいろなことにBセンスが感じられる)場合と、特定のアイテムが超高得点(あることがら、モノゴトに特化している)である場合に分かります。この違いが、このレーダー・チャートのプロポーションの違いに現われるので、どうして同じ点数なのに違うのかを話し合うと、環境の作りと多様性について考える機会になります。

シート③

くらしといきもの、いいかんじ Bセンス散歩 集計レーダー・チャート

コース 記載者 年月日 天気



スタート 時 分 ゴール 時 分 所要時間 約 時間



写真1 A 生き物が暮らす場所—水溜りなど



写真2 B 身近な植物



写真3 C 身近な動物



写真4 E 町並み—シンボルになる建物など



写真5 F お店—地域でとれた野菜など



写真6 G 自然素材の品物



写真8 I 歩く人を大事にした道



写真9 J 地域の記憶を残すもの



写真7 H 人の暮らし方



写真10 L あなたの街の特長など

5. まとめ方……「Bセンスさんぽ・マップ」を作る

見つけたものを適当な地図に書き込むと、「Bセンスさんぽ・マップ」が作れます。同じコースや場所でも、季節や天気が変わると見つかるBセンス・アイテムに大きな違いが出ること気づいたり、ほかの場所との比較もできます。できたマップを片手に、友達や家族とさんぽできるようにもなります。「Bセンスさんぽ」は、自然体験と地域を知ること、そして自分たちの自然とのつながりの感覚を育てることを、同時に行うプログラムなのです。

【参考になるホームページ】

<http://bsense.jp/>